

## 教 員 個 人 調 書

履 歴 書					
フリガナ 氏 名	ツチャ シュン 土屋 俊	性別	男	生年月日(年齢)	昭和27年10月30日(満56歳)
国 籍	日本	現 住 所		東京都東村山市萩山町4-5-2	
月額基本給(千円)	記入しません				
学 歴					
年 月	事 項				
昭和50年3月	東京大学教養学部卒業(教養学科科学史・科学哲学分科)				
昭和50年4月	東京大学大学院人文科学研究科哲学専攻(修士課程)入学				
昭和52年3月	東京大学大学院人文科学研究科哲学専攻(修士課程)修了(文学修士)				
昭和52年4月	東京大学大学院人文科学研究科哲学専攻(博士課程)入学				
昭和55年3月	東京大学大学院人文科学研究科哲学専攻(博士課程)博士課程単位取得後退学				
職 歴					
年 月	事 項				
昭和55年4月	日本学術振興会奨励研究員採用(昭56.3まで)				
昭和57年4月	千葉大学助教授文学部(記号論理学、言語行動論)採用				
昭和59年8月	大学設置審議会の教員組織審査において資格ありと判定 ○合 千葉大学大学院文学研究科(修士課程) 職名:助教授 担当授業科目:科学哲学演習				
昭和60年4月	千葉大学大学院文学研究科(修士課程)授業担当(科学哲学演習)(平10.3まで)				
昭和61年11月	文部省長期在外研究員としてアメリカ合衆国(スタンフォード大学)へ出張(昭63.11まで)				
昭和62年9月	スタンフォード大学言語・情報研究センター客員研究員(平元.2まで)				
平成5年11月	大学設置・学校法人審議会の教員組織審査において資格ありと判定 ○合				
平成6年1月	千葉大学教授文学部に昇任(認知情報科学)(現在に至る)				
平成6年4月	千葉大学大学院自然科学研究科情報システム科学専攻(博士課程) 職名:教授 担当授業科目:大量文書処理				
平成8年4月	千葉大学大学院自然科学研究科(博士課程)授業担当(大量文書処理)(平10.3まで) 千葉大学総合情報処理センター長併任(平10.3.まで)				
平成9年8月	大学設置・学校法人審議会の教員組織審査において資格ありと判定 ○合 千葉大学大学院自然科学研究科情報科学専攻(博士課程) 職名:教授 担当授業科目:大量文書処理				
平成9年8月	大学設置・学校法人審議会の教員組織審査において資格ありと判定 ○合千葉大学大学院文学研究科 人文科学専攻(修士課程) 職名:教授 担当授業科目:人間情報処理論				
平成10年4月	千葉大学附属図書館長併任(平14.3まで)				
平成10年4月	千葉大学大学院自然科学研究科情報科学専攻(博士課程)授業担当(大量文書処理)(現在に至る)				
平成10年4月	千葉大学大学院文学研究科(修士課程)授業担当(人間情報処理論)(平18.3まで)				
平成13年11月	千葉大学学長特別補佐併任(平14.3まで)				
平成15年8月	国立情報学研究所客員教授併任(現在に至る)				
平成15年8月	千葉大学学長特別補佐併任(平16.3まで)				
平成16年4月	千葉大学国際教育開発センター長併任(平17.3まで)				
平成16年4月	千葉大学学長補佐併任(平17.3まで)				
平成17年4月	千葉大学附属図書館長併任(平19.3まで)				
平成18年4月	千葉大学大学院人文社会科学研究科専攻(博士前期課程)授業担当(人間情報処理論,人間情報処理論演習)(現在に至る)				
平成19年4月	千葉大学副理事(図書館情報担当)(平20.4まで)				
平成19年4月	千葉大学大学院融合科学研究科情報科学専攻(博士後期課程)授業・研究指導担当(文書認知論)(現在に至る)				
学会及び社会における活動等					
現在所属している学会	哲学会, 日本哲学会, 日本科学哲学学会, 日本科学基礎論学会, 人工知能学会				
年 月	事 項				

昭和 50 年 4 月	哲学会会員
昭和 52 年 4 月	日本哲学会会員
昭和 55 年 4 月	日本科学哲学会（平元.11 評議員, 編集委員）
昭和 57 年 4 月	日本科学基礎論学会（平 5. 3 評議員）
昭和 57 年 4 月	日本記号学会（平 2. 4 評議員）
昭和 58 年 12 月	日本認知科学会（平元.1 常任運営委員, 平 6. 9 編集委員）
昭和 60 年 4 月	新世代コンピュータ開発機構自然言語理解ワーキンググループ委員（昭 62. 3 まで）
昭和 62 年 8 月	Association for Computational Linguistics（会員）
平成元年 1 月	Association for Computers and Humanities(会員)
平成元年 1 月	新世代コンピュータ開発機構状況意味論・状況理論ワーキンググループ委員（平 2. 3 まで）
平成 2 年 4 月	American Philosophical Association( 平 5. 1 Philosophy and Electronic Texts Subcommittee, Chair)(平 6. 12 まで)
平成 6 年 4 月	東京大学大型計算機データベース小委員会委員（平 11. 3 まで）
平成 6 年 4 月	IEC/TC3/SC3B 国内委員(平 15. 3 まで)
平成 7 年 4 月	IEC/TC3/SC3B-ISO/TC10 JWG7(convenor)（平 15. 3 まで）
平成 7 年 6 月	電子情報通信学会情報通信倫理委員会委員
平成 7 年 7 月	国立歴史民俗博物館情報システム委員会委員(平 10. 3 まで)
平成 8 年 6 月	情報処理学会倫理綱領策定委員会委員(平 9. 3 まで)
平成 8 年 7 月	東京地域学術ネットワーク運用部会委員(平 10. 3 まで)
平成 10 年 4 月	“The Computers and the Humanities” Commissioning editor（平 15. 12 まで）
平成 10 年 4 月	日本学術振興会未来開拓推進事業「電子社会システム研究推進委員会」平成 10 年度新規研究「情報倫理の構築」プロジェクトコアメンバー（平 15. 3 まで）
平成 11 年 4 月	東京大学情報基盤センターデータベースプログラムライブラリー専門委員会委員(平 13. 3 まで)
平成 12 年 3 月	東京地域アカデミックネットワーク（A-TRAIN）協会運営委員長（平 14. 4 まで）
平成 12 年 11 月	大学評価・学位授与機構大学評価委員会評価員（平 14. 10 まで）
平成 12 年 12 月	国立情報学研究所データベース委員会委員(平 16. 11 まで)
平成 13 年 3 月	文化審議会著作権分科会専門委員(平 14. 10 まで)
平成 13 年 6 月	文部科学省科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会専門委員（平 21. 2 まで）
平成 13 年 8 月	日本学術振興会特別研究員等審査会専門委員（平 14. 7 まで）
平成 14 年 4 月	日本規格協会 IEC/TC 3（情報構造, ドキュメンテーション及び図記号）IEC/TC3/SC3B（ドキュメンテーション）国内委員会委員（平 15. 3 まで）
平成 14 年 6 月	東北大学附属図書館外部評価委員（平 14. 11 まで）
平成 14 年 6 月	国立情報学研究所紀要編集委員会委員（平 16. 5 まで）
平成 14 年 7 月	奈良先端科学技術大学院大学附属図書館アドバイザー委員会委員（平 16. 6 まで）
平成 14 年 9 月	独立行政法人大学入試センター適正試験企画・評価研究会会員（平 19. 3 まで）
平成 14 年 9 月	財団法人日本規格協会 JIS 原案作成委員会委員（平 15. 2 まで）
平成 15 年 3 月	文部科学省独立行政法人評価委員会臨時委員（科学技術振興機構部会）（現在に至る）
平成 15 年 6 月	千葉県個人情報保護審議会委員（現在に至る）
平成 15 年 6 月	国立情報学研究所国際学術情報流通基盤整備事業運営委員会委員（現在に至る）
平成 15 年 10 月	日本学術会議情報学研究連絡委員会委員（平 17. 3 まで）
平成 15 年 11 月	国立国会図書館科学技術関係資料整備審議会委員（現在に至る）
平成 16 年 4 月	財団法人千葉市国際交流協会理事（平 17. 3 まで）
平成 16 年 4 月	日本原子力研究所研究嘱託（現在に至る）
平成 16 年 4 月	国立情報学研究所 Progress In Informatics 編集委員会委員（平 19. 3 まで）
平成 16 年 10 月	木更津市 IT 推進会議委員長(平 17. 3 まで)
平成 16 年 12 月	総務省「戦略的情報通信研究開発推進制度」専門評価委員（現在に至る） ポスト 2005 における文部科学省 IT 戦略のあり方に関する調査研究会(法制度問題等分科会)(平 17. 3 まで)
平成 17 年 1 月	文部科学省科学技術・学術審議会専門委員（現在に至る）
平成 17 年 7 月	千葉県図書館協議会委員（現在に至る）
平成 19 年 4 月	大学評価・学位授与機構大学評価委員会評価員（現在に至る）
賞 罰	
年 月	事 項

平成 8 年 6 月	(社) 人工知能学会全国大会優秀論文賞 「言語的・韻律的情報を利用した発話の終了／継続の予測」, 小磯花絵, 堀内靖雄, 土屋俊, 市川熹, 人工知能学会第 1 0 回全国大会論文集 pp. 407~410
平成 16 年 5 月	(社) 電子情報通信学会オフィスインフォメーションシステム研究専門委員会 OIS 研究賞受賞, 「電子メールによる学生連絡システム」, 檜垣 泰彦, 阿由葉努, 土屋 俊, 信学技報, OIS2003-30, pp1-6, 2003. 9

# 教 育 研 究 業 績 書

平成18年6月9日

氏名 土屋 俊 印

研 究 分 野		研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
哲学, 認知科学, 文書処理		心の哲学, 言語哲学, 音声対話, 形式意味論, 図書館情報学, 文書処理	
教 育 上 の 能 力 に 関 する 事 項			
事 項	年 月 日	概 要	
1 教育方法の実践例 論理学教育におけるコンピュータ・ソフトウェアの導入	平 4. 4. 1～	1 階述語論理学の教育において, パーソナルコンピュータを利用して, それまでの方法では困難であった, 「モデル」の概念の直観的理解を与えるために, "Tarski World"を原作者である John Etchemendy, Jon Barwise 教授と連携して導入して, 評価した。その結果, 記号操作以上の理解を深めることが可能となり, 1994年4月の雑誌『アエラ』で実践例として紹介された。	
2 作成した教科書, 教材 全学的情報処理導入教育のための標準教科書およびビデオ教材の作成	平 6. 4. 1～	理学部小川教授, 松元教授, 総合情報処理センター橋本助教授, 山下講師, 山賀助手達と協力して, インターネットが普及する状況下における大学における情報処理教育のとくに初年度学生に対するものについて, UNIX システムの使用を前提とする教育体系を構築し, その実施のためにビデオ教材(「社会の中の情報処理」ほか)および機器の使用方法から各種アプリケーションの活用におよぶ標準教科書を作成し, 毎年改訂を続けた。とくに, 計算機倫理, 情報倫理の章を担当した。また, この実践例について, 「情報処理教育研究集会」で1995年以降報告を続けた。	
3 教育上の能力に関する大学の評価	平 18. 6. 8	本学の「大学院自然科学研究科教授会」において, 能力ありと判定された。	
4 実務の経験を有する者についての特記事項		特になし	
5 その他		特になし	
職 務 上 の 実 績 に 関 する 事 項			
事 項	年 月 日	概 要	
1 資格, 免許		特になし	
2 特許等		特になし	
3 実務の経験を有する者についての特記事項		特になし	

4 その他		特になし
-------	--	------